

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	インターネット議会中継システム事業			会計	款	項	目	大	小
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		01	01	01	01	03	53
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		主管課	議会事務局				
				主管課長	玉田 雅則				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	市民に開かれた市議会の実現に向けて、更なる情報公開と情報の共有化に努める。
事業内容	本会議の様態をインターネットでライブ中継及び録画配信することによって、直接傍聴に来られない市民の方に議会の情報を迅速に発信し、議会活動への参加及び理解を推進している。			
事業開始から現在までの状況変化	議会の結果および意見等は直接議会の傍聴するか、会議録が作成されるまで公表する機会がなかった。インターネット中継にて配信することにより自宅で会議を視聴することができ、さらに会議内容をより迅速に市民に対して知らせることが可能となった。平成26年12月よりタブレット端末、スマートフォンに対応した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	本会議・臨時会開催日数	24	25	24	日	→→	議会要覧データより
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 本会議のインターネットによるライブ中継及び録画配信、また議会運営委員会、各常任委員会、特別委員会におけるYouTube中継及び録画配信を実施している。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,073,344	6,788,422	6,794,008				
事業費(b)(円)		2,267,844	2,090,022	2,179,608				
うち一般財源		2,267,844	2,090,022	2,179,608				
職員給与費(c)(円)		4,805,500	4,698,400	4,614,400				
人役・職員(人)		0.70	0.70	0.70				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	常に安定した映像配信が行えるよう、担当職員のシステムへの習熟を図ると共に、メンテナンスを行う。	③取組における課題(Check)	安定した通信環境を保つためには、通信やパソコン等のメンテナンスを行うとともに、さらなる議会中継転送レーートの引き上げに向け業者との協議を行う。
②H30に実施した取組(Do)	より鮮明な画像中継に向け、平成31年第1回定例会から委員会中継用のカメラを高性能な機種に変更するとともにYouTube中継及び本会議中継の転送レーートを引き上げた。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	平成31年度の議場内機器の入れ替えにより、さらに鮮明で安定した中継に取り組む。